



フードバレーとかち



JAPAN AIRLINES

Jalux

(共同リリース)

2021年10月4日
フードバレーとかち推進協議会
日本航空株式会社
株式会社 JALUX

フードバレーとかち推進協議会と JAL、JALUX が 包括連携協定を締結

フードバレーとかち推進協議会(所在地:北海道帯広市、会長:米沢 則寿)、日本航空株式会社(所在地:東京都品川区、社長:赤坂 祐二、以下「JAL」)、株式会社 JALUX(所在地:東京都港区、社長:篠原 昌司、以下「JALUX」)は、三者連携による北海道「十勝」のさらなる地域産業発展を目指し、包括連携協定を締結します。

これまでさまざまな企業連携や人材育成を通じて、十勝の地域活性化に取り組んできたフードバレーとかち推進協議会、今年の7月に帯広=東京(羽田)線就航56年目を迎え、羽田空港を経由した国内・海外へのネットワークやプロモーション力を持つ JAL、大消費地マーケットへの販売力やマーケティング力、商品企画ノウハウを持つ JALUX の三者が連携することで、十勝が有する特性・優位性や蓄積されてきた産業基盤を活用し、地域活性化に寄与します。今後の具体的な取り組みとして、十勝産食材を活用した JAL 客室乗務員監修による商品開発と販売、三者が有する資産を活用した商品のプロモーションやアグリツーリズム(*1)での十勝誘客などを実施してまいります。

(*1)アグリツーリズムとは、都市居住者などが農場や農村で休暇・余暇を過ごす旅行

なお、本協定に先んじて、「フードバレーとかち」のロゴを配した十勝地方のオリジナルフレッシュチーズの販売を首都圏にて開始しており、とかちブランドの認知拡大に取り組んでいます>(*2)

(*2)2021年4月23日付 エリアニュース

『日本各地の生産者を応援する取り組み第2弾として北海道 十勝地方のオリジナルフレッシュチーズが登場』

URL http://areanews.jal.co.jp/ja/attaches/pdf/cts_210423.pdf 参照

1. 目的

三者が互いの資源等を活用し、連携しながらそれぞれの機能を効果的に発揮することにより、十勝の食関連産業の振興に寄与することを目的とします。

2. 協働事項

- (1)十勝産食材を活用した商品開発に関する事
- (2)十勝産食材・加工品の物流および販路拡大に関する事
- (3)食関連産業に係る情報取得に関する事
- (4)地域産業の振興に関する事
- (5)その他三者の協議により決定した事項に関する事

